

講演要旨

① 「雲南懇話会、10 年の歩み」－懇話会の今、これから－

AACK 前田 栄三

雲南懇話会は 2014 年に 10 周年を迎え、この 8 月、アフリカ地域特集の記念講演会を第 30 回雲南懇話会として開催致しました。改めて 10 年の歩みを概観し、今後の有り様について触れたいと思います。10 年間 143 件に及ぶ講演、Field work (10 回)、Study tour (3 回) について、概観してみました。

② 「ネパール、ポカラの国際山岳博物館と私のヒマラヤ登山」－JICA シニアボランティア活動とその後のネパール三昧－
日本山岳会海外委員、東京都山岳連盟海外委員 竹花 晃

ネパール山岳協会によるポカラの国際山岳博物館は 2004 年 2 月に正式オープンした。この博物館の設立及びその後の運営においては日本の山岳諸団体や関係者によって資金、物的援助等多大な貢献があった。また JICA より海外シニアボランティアが、私を含め過去 4 人、9 年に亘り人的・物的援助を行っている。この山岳博物館の概況を説明し、また山岳博物館の仕事やネパール在住を契機として、帰国後もヒマラヤ登山活動やネパールに関わっており、それらの紹介をします。

③ 「キルギス自転車旅行、GPS と NASA の 3 次元地形データ(SRTM) の活用」

－キルギス見聞録、SRTM の活用事例（梅里雪山巡礼路等の等高線図・高低図作成）－

サイクリスト、シルクロード雑学大学（歴史探検隊） 前田 種雄

定年後に自転車でキルギスを 6 回旅しました。Kyrgyz の美しい雪山・草原・湖の景色をご紹介します。皆様に、是非 Kyrgyz ファンになって頂きたい。良い地図がないこの地域を安全に旅するには GPS の活用が第一です。デジタル地図は無料の OpenStreetMap を、地形データは NASA の 3 次元地形データ (SRTM) を用い、地図ソフト Kashmir で、等高線図、高低図を作成します。世界の殆どの地域が対象になり自宅のパソコンで作成できます。Kyrgyz の Bedel 峠への道、梅里雪山の巡礼路等の例を紹介します。

④ 「ヒマラヤ・チベット高所住民の健康」－低酸素適応と生活変化の相互作用－

京都大学東南アジア研究所連携准教授、総合地球環境学研究所客員准教授、AACK 奥宮 清人

チベット人は、ヘモグロビンの過剰生産を抑制し血液がドロドロになることを防ぐ方法で低酸素適応した。EPAS1 遺伝子に特異な変異があり、それは、ネアンデルタール人と同時代に生きていたデニソワ人から受け継いだという証拠が最近発見された。我々の調査より、チベット人は高血圧や糖尿病に脆弱であることが判明し、若いときには有利であった低酸素適応方法が、高齢になると生活習慣病には不利となるトレードオフが背景にあるらしい。

⑤ 「タイ・ビルマ漆器と中国虫糞茶」

－ビルマウルシの生産とタイ北部のビルマウルシ林を調べる。中国南部の虫糞茶とは何か？－

京都大学名誉教授（森林科学専攻） 渡辺 弘之

タイ・ビルマ漆器は日本のウルシとは別種のビルマウルシからの漆液を使う。漆器は多様なカタチだが、これはタケを編んだものの上に漆を塗った籃胎漆器である。タイ北部ではビルマウルシは標高の高いメルクシマツ林やフタバガキ樹木と混交していた。漆掻きの傷はカレン族とタイヤイ族でちがった。

中国に虫糞茶というのがある。どんな虫の糞か、チャの葉を食べさせるのだろうかに興味を持って調べたら、虫は化香夜蛾と呼ばれるソトウスグロアツバ、そして与える樹木はチャでなく化香樹と呼ばれるノグルミであった。